

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第1試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名 大分上野丘	得点 65	16 — 25 17 — 19 20 — 15 12 — 16	得点 75	チーム名 玉名工業	

チーム名 大分上野丘						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	若林 佑紀	22		9	4	3
5	阿南 俊之介	0				
6	野中 聖也	12		5	2	1
7	秋好 沢哉	8		4		
8	田中 陸太	5		2	1	1
9	猪股 祐也	0				1
10	三輪 隆清	3	1			1
11	小山 壮平	15	2	4	1	4
12	立石 宙也	0				
13	江藤 慶太	0				
14	渡辺 康平	0				
15	鶴本 大智	0				
16	管 優太郎	0				
17	植村 恭介	0				
18	宮子 修治	0				
合計		65	3	24	8	11

チーム名 玉名工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	前田 倅士郎	8		4		4
5	平野敬二郎	0				
6	前田 遼介	0				
7	高口 壽将	11		5	1	
8	十時 雄也	0				
9	池田 周平	0				
10	高田 歴	0				
11	岡田 龍己	0				
12	村上 貴啓	0				
13	永田 誉	0				
14	福田 透也	21	3	6		4
15	平野 徹	22	3	4	5	3
16	松永 雅也	8		4		1
17	木村 仁	5	1	1		1
18	中川 晃一	0				
合計		75	7	24	6	13

☆戦評

第1Q、両者マンツーマンでのスタート。玉名工業は⑭・⑮、上野ケ丘は④・⑪を中心に得点を重ねる。第1Q終盤、上野ケ丘は、アウトサイドで得点を狙うも決まらず、逆に玉名工業は連続得点を挙げ、16-25と玉名工業リードで終了する。

第2Q、上野ケ丘は、ドライブからファウルを誘い加点する。玉名工業も、⑮のアウトサイドを中心に得点を重ねる。中盤、お互い得点が止まるものの、上野ケ丘のパスミスから玉名工業は速攻で加点し、33-44で玉名工業リードで前半を終了する。

第3Q、立ち上がり上野ケ丘の④、玉名工業は⑦のインサイドにボールを集め、得点を狙うも成功せず残り5分、上野ケ丘がパスカットからのシュートで4点差に迫いつき、玉名工業がタイムアウト。その後、玉名工業は⑮・⑯の3Pで得点を重ね、上野ケ丘も④を中心に得点し、53-59と玉名工業リードで終了。

第4Q、玉名工業はスチールからの速攻、上野ケ丘は④のリバウンドシュート、⑥の3Pで加点する。残り4分上野ケ丘はアウトサイドが決まらず、逆に玉名工業は⑭の連続3Pで17点差となり、上野ケ丘はたまたまずタイムアウト。上野ケ丘はオールコートプレスで流れを変えようとするが得点が伸びない。残り2分上野ケ丘⑩、⑪の連続3Pで8点差となり、玉名工業タイムアウト。上野ケ丘は激しいプレスからミスを誘うも、得点できず65-75で玉名工業の勝利。

担当者(亀井 貴史)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第1試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名 北筑	得点 69	12 — 34 17 — 26 22 — 31 18 — 17	得点 108	チーム名 西海学園	

チーム名 北筑						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	川崎 敦稀	2		1		1
5	大場 将平	14	1	5	1	4
6	前田 基	2		1		1
7	岡田 朋也	18		7	4	5
8	吉永 秀成	7		3	1	1
9	福田 義樹	19		8	3	4
10	寒竹 翼	3	1			
11	鷹取 雄介	0				
12	古場 健太	0				
13	徳満 卓也	0				
14	小林 哲平	0				
15	野田拓巳	0				
16	原田 博浩	0				
17	下鶴 創哉	4		2		1
18	渡邊 雅大	0				
合計		69	2	27	9	17

チーム名 西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田 顕斗	13	1	5		
5	堤 涼	2		1		3
6	石井 翼	5		2	1	
7	鳥海 大樹	37	3	13	2	4
8	増山 宝	0				
9	山戸 天暁	0				
10	原 拓史	10		5		4
11	松本 稔真	7		2	3	3
12	神岳 龍昇	0				
13	野口 瑞樹	0				
14	吉田 翔	5		2	1	2
15	吉田 慎	2		1		1
16	油谷 隼希	0				1
17	松尾 智	2		1		
18	成合 貴博	25	1	10	2	3
合計		108	5	42	9	21

☆戦評

第1Q両者マンツーマンデフェンスで試合開始。互いにシュートを外しスタートするが残り8:28に西海⑪が得点。北筑もオフェンスリバウンドからボールを回し⑧の得点。西海は厳しいデフェンスからボールを奪い速攻で流れをつかむ。さらにカットインからファールを得てフリースローで得点を重ねる。北筑もスチールから速攻を出す。ミスによるターンオーバーで流れをつかむことができず、34-12西海リードで第1Qを終える。第2Q北筑は速攻を出したいが西海の早い戻りにターンオーバーを繰り返し、残り6分38秒14対46でタイムアウト。タイムアウト後北筑は厳しい守りで流れを引き寄せ、⑩のスリーポイント、⑦の速攻で追い上げる。西海も⑦の連続ポイントなどで流れを引き戻し、第2Qを60-29西海リードで終了。第3Q北筑は2-1-2のフルコートゾーンプレスからの3-2ハーフコートゾーンで激しくプレッシャーをかけ⑤の速攻からのジャンシュートで追い上げる。西海は、相手デフェンスを早いパス回しでかわしゴール下シュートにつなげる。最後は西海④のカットインでの得点で、91-51で第3Qを終える。第4Qは北筑の粘り強いオフェンスリバウンドから⑨のゴール下シュート、⑥の連続シュートで追い上げる。北筑のオールコートマンツーマンなど厳しいデフェンスに苦しみながらも、西海は⑦のスリーポイントなどで着実に得点を重ね追いつくが北筑を突き放し、108-69で試合終了となる。

担当者(山本直樹)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第2試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名 小林	得点 97	26 — 19 22 — 18 36 — 15 13 — 14	得点 66	チーム名 有田工業	

チーム名 小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中野 慎也	0				
5	高田 宝聖	14	2	3	2	2
6	兒玉 大成	5	1		2	1
7	永野 智久	22	2	8		2
8	村角 健陽	26		11	4	1
9	伊藤 拓真	6		3		
10	鳥飼 佑哉	2		1		1
11	村永 敦也	5	1	1		
12	平山 雅史	0				1
13	細瀧 拓利	7	1	2		4
14	根井 友彰	4		2		2
15	新增 史裕	0				
16	立石 源輝	6		3		
17	田中 源一郎	0				2
18	田中 志哲	0				3
合計		97	7	34	8	19

チーム名 有田工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	秀島 圭祐	0				
5	稲富 隆星	16	3	3	1	4
6	林 亮太	0				
7	青木 光	26		11	4	2
8	原口 晃太	4	1		1	1
9	福田 蓮	10	1	3	1	
10	青木 希	2		1		
11	久地石 優	0				3
12	永田 京平	0				
13	中島 永遠	4	1		1	
14	多久島 惇史	2		1		
15	一ノ瀬 湧世	0				
16	澁川 健太	0				
17	上田 一総	0				
18	栗田 悠佑	2		1		
合計		66	6	20	8	10

☆戦評

小林オールコートマンツーマン、有田エハーフマンツーマンでスタート。小林#17のドライブからのアシストが効果的に決まる。#7の3Pシュートで11-5とリード。有田エ#8の3Pで離されない。小林の機動力のある激しいプレスに有田エが慌て気味であるが、#5の3Pや#9スティールなどで追いつく。2Q小林の激しいディフェンスは変わらず、スティールからの速攻が次々と決まる。有田エもリバウンドからのこぼれ球を得点に結びつけるが、速攻が決まらない。残り6分有田エがディフェンスを2-3ゾーン。小林はこのゾーンを効果的に攻めきれないが、有田エも小林の激しいディフェンスを攻略できない。終盤小林#7の連続スティールからの速攻が決まり11点リードで前半終了。後半有田エ#13の3Pが決まるが、小林#17がオフェンスをコントロール。#5の3Pで68-40と突き放す。有田エは残り5分でまだ5得点。その後有田エが2連続速攻を決めるが、小林も激しいディフェンスからの速攻で82-52と突き放し3Q終了。4Q有田エ#7の連続得点するも、小林#16の連続得点、#13の3Pでさらに加点していく。有田工業はディフェンスリバウンドが取れない。小林が最後までディフェンスの手を緩めず、97-66で圧勝した。

担当者(藤 末 貴 裕)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第2試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	23 — 14 18 — 13 13 — 19 18 — 31			得点 チーム名
	鹿児島中央	72				77 糸満

チーム名						
鹿児島中央						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	川 原 悠 聖	18		7	4	3
5	谷 山 元 一	24	6	3		1
6	北 川 貴 崇	9	1	2	2	2
7	岡 村 祐 希	4		2		4
8	西 留 友 聡	0				1
9	園 中 裕 貴	0				
10	吉 元 文 哉	14		6	2	1
11	穂 満 康 平	0				
12	榎 原 悠 人	0				
13	水之浦 啓 太	0				
14	荒 木 希 哉	0				
15	村 上 紘	2		1		
16	下 内 絢 人	1			1	1
17	江 口 大 賀	0				
18	上 野 翔 護	0				
合計		72	7	21	9	13

チーム名						
糸満						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 鷹斗	2			2	2
5	屋宜 宣祥	0				
6	金城 幸治	8		4		2
7	高良 大誠	0				
8	元長 亮太	11		4	3	2
9	上原 鷹	0				
10	津波古 海都	2		1		5
11	真保栄 勇基	3		1	1	2
12	大城 雄飛	0				
13	中村 歩夢	23	5	4		2
14	親泊 遼	16		7	2	3
15	兼島 陸	12		6		
16	金城 寛	0				
17	新垣 楨梧	0				
18	宮城 元樹	0				
合計		77	5	27	8	18

☆戦評

第1Q、共にマンツーマンでスタート。鹿児島中央#5谷山の3連続スリーポイントでリードを奪うも、糸満のハードなディフェンスからの速攻で追いつく。しかし、ハーフコートオフェンスで着実に加点していく鹿児島中央がじわじわと引き離し23対14の鹿児島中央リードで終了。

第2Q、共にディフェンスを2-3ゾーンに変更。しかし、互いにリズムが掴めずマンツーマンへ。その中で鹿児島中央#6北川のリバウンドとゴール下、糸満#4金城のドライブからの合わせを中心に攻防を繰り返すも、粘りのある鹿児島中央が41対27の14点リードで終了。

第3Q、糸満のオールコートプレスを織り交ぜたディフェンスから速攻が決まりだし、相手のミス誘発。合わせて糸満#13中村のスリーポイントも決まり、一気に5点差まで詰め寄る。鹿児島中央も途中、ゾーンに切り替えるも勢いは止まらないまま51対46で第4Qへ。

第4Qに入っても、糸満のゾーンプレスからの速攻、ドライブからの合わせで残り8分で逆転。その後お互い点数が止まるも、残り6分糸満#10津波古が5ファール退場。鹿児島中央#4川原のゴール下でのガッツあるプレイで盛り返そうとするも糸満#13中村のスリーポイントが効果的に決まり、またオールコートプレスからの速攻で逆に引き離し、そのまま77対72で糸満が逆転勝利となった。

担当者(佐 藤 淳)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第3試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名 鹿児島商業	得点 91	30 — 9 22 — 9 26 — 14 13 — 18			得点 50 チーム名 宮崎大宮

チーム名						
鹿児島商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山田 安斗夢	24		9	6	1
5	大田 和也	3		1	1	
6	板敷 晃太郎	6		2	2	
7	永山 拓磨	9	2	1	1	1
8	稲毛 侑聖	3	1			
9	柳園 虎之介	0				
10	小吉 靖太郎	0				1
11	小吉 滉太郎	2		1		1
12	川野 大雅	2		1		
13	熊之細 拳	6		3		3
14	山田 亮平	27	2	8	5	2
15	尾脇 彰	7	1	2		4
16	蔵本 優樹	0				
17	宮下 晃司	2		1		1
18	藤木 慧吾	0				
合計		91	6	29	15	14

チーム名						
宮崎大宮						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	廣瀬 玲旺	0				1
5	中邨 秀明	0				3
6	岩本 和磨	2		1		4
7	岡田 裕行	15	3	2	2	2
8	川越 健生	17		7	3	2
9	久保田 悠斗	0				1
10	兒玉 文彬	4		2		1
11	森山 優	0				
12	矢野 凌太	0				
13	櫻屋 優志	0				
14	日置 一哉	0				
15	平原 功一	10		4	2	4
16	金丸 昴太郎	0				
17	別宮 涼	2		1		4
18	齋藤 響	0				
合計		50	3	17	7	22

☆戦評

第1Q、鹿児島商業はマンツーマン、大宮はゾーンでスタート。序盤から鹿児島商業が激しいディフェンスで大宮高校のターンオーバーを誘い、速い展開で次々とゴールを量産していく。大宮も、何とか食らいつこうとするが得点することができず、30-9で鹿児島商業がリードする。

第2Q、なかなか得点することのできない大宮に対して、④・⑦を中心に着実に得点を重ねていく鹿児島商業。互いにノーゴールの時間帯が続く場面もあったが、安定したゲームを展開した鹿児島商業が52-18とリードで、前半を折り返す。

第3Q、攻撃の手を緩めない鹿児島商業に対して、ゴール下の力強いプレーで応戦する大宮。しかし、激しいプレッシャーの前に、なかなかボールを繋ぐことができず、78-32と差を広げられてしまう。

第4Q、大宮は⑦・⑧が連続ゴールを決め追い上げを図るが、終始ボールを支配し続けた鹿児島商業が、91-50で快勝し2回戦に駒を進めた。

担当者(岩坪 大輝)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第3試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	22	—	6	得点
	長崎東	55	15	—	10	58
			8	—	14	福翔
			10	—	28	

チーム名						
長崎東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	井上 響介	14	2	4		2
5	永本 太一	8		4		2
6	占部 龍弘	2		1		3
7	野田 壮一郎	19		9	1	4
8	多田 良平	8		4		5
9	小柳 慎	2		1		1
10	馬場 悟	0				4
11	麓 溪太	2		1		
12	竹下 聡一郎	0				
13	橋田 裕大	0				
14	稲吉 翔	0				
15	伊藤 優希	0				
16	古賀 光太郎	0				
17	溝上 泰晴	0				
18	佐々木 優太	0				
合計		55	2	24	1	21

チーム名						
福翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	今村 優樹	36	1	15	3	
5	河野 仁哉	3	1			
6	田中 孔祐	0				
7	松本 悠歩	0				
8	山下 徹朗	0				
9	高村 創作	7		2	3	
10	渡久地 佑哉	2		1		
11	川上 滝盛	0				
12	首藤 晶	0				
13	内村 聡斗	2		1		
14	小森 周平	0				
15	馬場 瑚	8		2	4	
16	小笹 晃	0				
17	永江 賢二	0				
18	栗原 虎之助	0				
合計		58	2	21	10	0

☆戦評

第1Q長崎東ボールでゲームスタート。長崎東#5のミドルで先制、お互いにハーフコートマンツーマンで始まる。その後も流れを掴めない福翔を相手に長崎東は加点し、8-0のところで福翔はタイムアウト。福翔#4の3Pなどで点差を詰めるもリズムを掴めず、22-6と長崎東のリードで第1Q終了。第2Q福翔はオールコートゾーンプレスを仕掛け激しいディフェンスから長崎東のミスを誘い、点差を一気に22-14と8点差まで詰める。対する長崎東はハーフコートでの固い守りと#7のリバウンドからバスケットカウントなどで得点を重ね37-16の長崎東のリードで折り返す。第3Q追いつきたい福翔はオールコートゾーンプレスを仕掛け、福翔#4を中心に加点し39-28の11点差まで追いつく。対する長崎東は#5のレイアップ、#4のスクープショット、#7のインサイドで対抗。リズムを掴んだ福翔が45-30と点差を詰めて最終Qへ。第4Qリズムを掴んだ福翔が#4を中心に得点を重ね45-38と点差を1ケタに詰める。ここで長崎東はたまたまタイムアウト。しかし福翔の勢いを止めることは出来ず、徐々に点差は縮まっていき、残り24.3のところで55-54と1点差となり、残り7秒でフリースローを得た福翔#15が確実に2本とも決めて逆転。長崎東はファウルゲームに持ち込むも、福翔が逃げ切り58-55で大逆転勝利を収めた。

担当者(森 大樹)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立第二高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	14	—	20	得点	チーム名
	佐賀東	64	9	—	16	66	首里東
			21	—	11		
			20	—	19		

チーム名						
佐賀東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	宮崎 雄司	24	1	9	3	4
5	平野 莉樹	2		1		4
6	岩永 康士朗	0				
7	小松 佳城	4		2		
8	中本 太一	0				
9	手塚 隆雅	0				
10	寺丸 諒	0				
11	野口 大那	0				
12	小寺 巧真	2		1		4
13	坂本 耕大	20	3	3	5	2
14	山下 龍	8	2	1		4
15	中山 大海	0				
16	長通 憂弥	0				
17	青谷 風尚	0				
18	原口 堅也	4		2		
合計		64	6	19	8	18

チーム名						
首里東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	城間 涼次	9	1	3		1
5	崎山 良樹	17		7	3	1
6	幸喜 刀夢	0				
7	崎山 恒紀	19		7	5	1
8	新垣 智也	0				
9	金城 周作	0				
10	上間 義仁	0				
11	新城 怜弥	0				
12	比嘉 一樹	5	1	1		3
13	川平 琉貴	16	2	4	2	2
14	石川 若樹	0				
15	石井 雄大	0				
16	喜屋武 亮輔	0				
17	宮城 周大	0				
18	宇室 秀弥	0				
合計		66	4	22	10	8

☆戦評

第1Q、佐賀はマンツーマン、首里はゾーンDFでスタート。首里は⑤・⑦のインサイド、佐賀は⑭の3Pなどで得点していく。残り2分を切ったところで、佐賀が5つ目のチームファールで首里のフリースロー。2本とも決めて18-11で首里がリードする。その後、両者譲らず20-14の首里がリードで第1Q終了。

第2Q、首里⑬のアウトサイドシュートでさい先良くスタートしたものの、佐賀④、首里⑦がお互いドライブで加点し、譲らない。その後、両者とも良い形を作るものの、なかなかシュートが決まらない。残り5分を切り、佐賀⑬のドライブイン、首里⑤・⑦のインサイドで得点が動く。しかし、両者とも得点が伸びず、36-23首里リードで前半終了。

第3Q、お互い、ゾーンDFで流れをつかもうとするものの、2分間得点なし。しかし、佐賀⑬の3Pを皮切りに④のカットイン、3Pで加点し、8点差に迫る。その後、佐賀はゾーンプレスから首里のミスを誘い加点。47-44の3点差まで詰め寄り、第3Q終了。

第4Q、佐賀⑬のバスケットカウントですぐさま同点。その後、首里⑦のインサイド、佐賀のアウトサイドシュートなどで両者譲らない。残り2分、首里が⑬のドライブイン、⑤のゴール下シュートで66-62と首里が4点差とする。残り30秒、佐賀④がファールをもらい、フリースローを決め、2点差にするものの66-64で首里が逃げ切り、勝利を収めた。

担当者(亀井貴史)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第4試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	21	—	15	得点
	臼杵	65	14	—	19	83
			13	—	20	熊本工業
			17	—	29	

チーム名						
臼杵						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	百木 達哉	10		4	2	2
5	玉田 和哉	0				
6	熊谷 恵太	21	6	1	1	1
7	中島 悠輔	0				
8	牧 大河	0				
9	工藤 智之	7		3	1	5
10	森田 健人	16	2	4	2	4
11	木村 友哉	4		2		
12	姫野 渉	0				
13	合澤 尚治	0				
14	下郡 辰弥	4		2		
15	手嶋 大希	0				
16	二宮 太一	0				
17	板井 臨	3			3	1
18	三重野 凌貴	0				
合計		65	8	16	9	13

チーム名						
熊本工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	竹林 海翔	27	5	5	2	3
5	古閑 啓亮	9		3	3	
6	宮崎 貴行	0				
7	阿部 滉平	0				3
8	久末 健太郎	0				
9	中神 椋太郎	13		4	5	4
10	野村 翔太郎	0				
11	宮中 建太郎	0				
12	藤本 遊次郎	0				4
13	平原 健太	24		12		
14	松井 智哉	4		2		2
15	小田 瑛月	0				
16	伊勢崎 匡規	6		2	2	1
17	魚山 魁人	0				
18	宮本 一輝	0				
合計		83	5	28	12	17

☆戦評

第1Qデフェンスは両者マンツーマンでスタート。臼杵⑨のスチールからのレイアップシュートなどの連続得点により5-0臼杵がリードする。熊本工業も④のスリーポイント⑭のゴール下シュートで追い上げ、⑬の連続得点で5-8と逆転する。臼杵も⑥の2本のスリーポイント、⑩のスリーポイントなどの連続得点で再逆転、リードを最大8点差まで広げた。粘る熊本工業も終了間際に④がジャンプシュートを決め、21-15で第1Qを終える。第2Qは、開始早々に熊本工業④の3本の連続スリーポイントで24-24に追いつく。その後一進一退の展開が続くが、熊本工業⑬のインサイドプレイで29-30と再逆転されたところで、臼杵がタイムアウト。その後も互いに流れをつかみ切れないうま一進一退の展開となる。35-34臼杵1点リードでハーフタイムを迎える。第3Q臼杵3-2ゾーンディフェンスで変化を見せる。臼杵が4、5点リードするも、熊本工業フルコートディフェンスでプレッシャーをかけ、スチールからの得点で追い上げる。その後互いに堅実なプレーで加点していく中、最後は熊本工業⑨の速攻でリードを広げ、48-54熊本工業リードで第3Qを終える。第4Qに入り、臼杵は2-3ゾーンを見せ、熊本工業に揺さぶりをかける。熊本工業がじわじわとリードを広げる中、臼杵タイムアウト後に⑥のスリーポイントで反撃し、51-58となるも、熊本工業が8連続得点で流れをつかみ、臼杵たまたまタイムアウト。タイムアウト後、臼杵フルコートマンツーマンで激しくあたり、連続スリーポイントなどで追い上げをみせる。熊本工業は、④のスリーポイントや⑬のジャンプシュートが決まりリードを広げる。その後もインサイドで⑬が着実に得点を重ねてそのまま逃げ切り65-83で試合終了。

担当者(山本直樹)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第5試合 (2回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	20	—	20	得点
	玉名工業	77	12	—	17	79
			19	—	28	西海学園
			26	—	14	

チーム名						
玉名工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	前田 倅士郎	12		6		3
5	平野敬二郎	0				
6	前田 遼介	0				
7	高口 壽将	26		9	8	
8	十時 雄也	0				
9	池田 周平	0				
10	高田 歴	0				
11	岡田 龍己	0				
12	村上 貴啓	0				
13	永田 誉	0				
14	福田 透也	16	2	2	6	3
15	平野 徹	10	2	1	2	3
16	松永 雅也	13	2	2	3	
17	木村 仁	0				
18	中川 晃一	0				
合計		77	6	20	19	9

チーム名						
西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田 顕斗	9	1	3		2
5	堤 涼	0				
6	石井 翼	0				3
7	鳥海 大樹	16	3	3	1	4
8	増山 宝	0				
9	山戸 天暁	0				
10	原 拓史	2		1		4
11	松本 稔真	23	3	6	2	2
12	神岳 龍昇	0				
13	野口 瑞樹	0				
14	吉田 翔	8		4		4
15	吉田 慎	0				
16	油谷 隼希	0				
17	松尾 智	0				
18	成合 貴博	21	1	9		4
合計		79	8	26	3	23

☆戦評

お互いハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、西海学園は玉名工業のディフェンスを攻めあぐね、玉名工業はフリースローで加点していく。その後西海学園は#14の速攻、#11の3Pで得点。玉名工業はディフェンスが徹底せず、西海学園のドライブインを許す展開。しかし西海学園もファウルを重ねてしまう。20-20で1Q終了。2Qお互いシュートが入らず、パイオレーションも多く、重い展開となる。玉名工業は3分間無得点。残り5分西海学園#14のドライブ、#4のスティールからの速攻で29-25とリード。玉名工業は#7のミドルシュート、ポストプレーでついていく展開。西海学園は#7の3Pが決まるも、ファウルが多い。3Qは西海学園#18がドライブ、ミドルシュートの6連続得点で突き放しにかかるが、玉名工業も#7のゴール下、ミドルシュートで追いつく。西海学園がフルコートマンツーマンを仕掛け、#11の連続3Pで玉名工業タイムアウト。その後も#11の終了直前の2Pで終了。4Q、西海学園#7の3Pで始まるも、玉名工業#14、#16の3Pが決まる。その後も#7のゴール下、#16、#15の連続3Pで74-75と逆転に成功。残り1分でスティールからの速攻が決まり74-77となる。西海学園も#18の3Pで同点。残り50秒、西海学園がスティールからの速攻で79-77と再逆転。残り9秒で、玉名工業がオフェンスファウルを犯し、西海学園がボールキープで試合終了。

担当者(藤 末 貴 裕)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第5試合 (2回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	24	—	27	得点
	小林	99	25	—	15	81
			18	—	29	糸満
			32	—	10	

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中野 慎也	0				
5	高田 宝聖	36	3	10	7	
6	兒玉 大成	0				1
7	永野 智久	17		8	1	4
8	村角 健陽	20		10		3
9	伊藤 拓真	0				
10	鳥飼 佑哉	0				
11	村永 敦也	3	1			
12	平山 雅史	0				
13	細瀧 拓利	0				
14	根井 友彰	17	1	7		2
15	新增 史裕	0				
16	立石 源輝	0				
17	田中 源一郎	6		3		3
18	田中 志哲	0				
合計		99	5	38	8	13

チーム名						
糸満						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 鷹斗	0				
5	屋宜 宣祥	0				
6	金城 幸治	11		4	3	2
7	高良 大誠	0				
8	元長 亮太	0				
9	上原 鷹	0				
10	津波古 海都	8		4		1
11	真保栄 勇基	0				
12	大城 雄飛	0				
13	中村 歩夢	43	10	4	5	1
14	親泊 遼	10		5		5
15	兼島 陸	9	1	2	2	1
16	金城 寛	0				
17	新垣 慎梧	0				
18	宮城 元樹	0				
合計		81	11	19	10	10

☆戦評

互いにマンツーマンでスタート。第1Qは糸満#13の5本のスリーポイント、小林#8の速攻での連続レイアップなどで、互角の展開になり27対24糸満リード。

第2Qに入ってすぐにリバウンドからの連続速攻で小林が逆転。対する糸満も、ガードのドライブに#10、#14が合わせて得点するも、残り1分で#14、#5の連続スリーポイントで突き放す形となり42対49で小林リード。

第3Q、糸満が激しいディフェンスからの連続速攻でリズムを掴み、再び逆転。残り2分で9点差をつけるも小林#7、#8のゴール下での頑張りにより追い上げ、71対67糸満リードで最終ピリオドへ。

第4Qに入ると、小林のディフェンスリバウンドからの速攻、#5、#7、#8を中心としたパワフルなゴール下周辺でのオフェンスで着実に加点していく。対する糸満も粘り強くディフェンスから速い展開に持ち込もうとするも、小林の勢いを止めることができない。ディフェンスリバウンドを確実に速攻につなげていった結果、最終的には99対81で小林が勝利を収めた。

担当者(佐藤 淳)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Cコート 第6試合 (2回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名 鹿児島商業	得点 92	23 — 12 20 — 10 22 — 14 27 — 28	得点 64	チーム名 福翔	

チーム名						
鹿児島商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山田 安斗夢	26		12	2	2
5	大田 和也	2		1		
6	板敷 晃太郎	2		1		1
7	永山 拓磨	6	1	1	1	1
8	稲毛 侑聖	0				
9	柳園 虎之介	0				
10	小吉 靖太郎	0				
11	小吉 滉太郎	1			1	
12	川野 大雅	1			1	
13	熊之細 拳	15		6	3	
14	山田 亮平	37		17	3	1
15	尾脇 彰	2		1		3
16	蔵本 優樹	0				
17	宮下 晃司	0				
18	藤木 慧吾	0				
合計		92	1	39	11	8

チーム名						
福翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	今村 優樹	13	1	4	2	4
5	河野 仁哉	7		3	1	2
6	田中 孔祐	0				
7	松本 悠歩	0				
8	山下 徹朗	0				
9	高村 創作	14		7		3
10	渡久地 佑哉	6		3		3
11	川上 滝盛	6	2			1
12	首藤 晶	0				1
13	内村 聡斗	8		4		1
14	小森 周平	0				
15	馬場 瑚	8		4		3
16	小笹 晃	0				
17	永江 賢二	0				
18	栗原 虎之助	2		1		2
合計		64	3	26	3	20

☆戦評

第1Q、両者マンツーマンでスタート。福翔は④・⑪が立て続けに3Pを決めるが、鹿児島商業⑭の7連続ゴールで一気に差を広げ、23-12と鹿児島商業リードで終了。

第2Q、福翔はゾーンディフェンスに切り替え巻き返しにかかるが、鹿児島商業⑭が福翔④を徹底マークし加点を許さない。残り2分37-22で福翔がタイムアウトを取るが、流れは変わらず43-22とさらに差を広げられ前半を終了する。

第3Q、福翔は④を中心に追撃を試みるも疲れが見え始める。一方、鹿児島商業は④を中心に素早い展開からゴールを決め、65-36とリードを広げる。

第4Q、両者とも激しい攻防を繰り広げ、点の取り合いになる。残り5分82-50で福翔のタイムアウト。その後、わずかな追い上げを見せるが力尽きた。④・⑭がコート上で圧倒的な存在感を見せつけ、合わせて63点を叩き出す活躍を見せた鹿児島商業が、92-64で勝利を収めた。

担当者(岩坪 大輝)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Dコート 第6試合 (2回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立第二高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	19	—	11	得点
	首里東	59	12	—	28	83
			13	—	16	熊本工業
			15	—	28	

チーム名						
首里東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	城間 涼次	7	1	2		
5	崎山 良樹	31		13	5	
6	幸喜 刀夢	0				
7	崎山 恒紀	4		2		2
8	新垣 智也	4		2		
9	金城 周作	0				1
10	上間 義仁	2		1		1
11	新城 怜弥	0				
12	比嘉 一樹	3	1			1
13	川平 琉貴	8		4		1
14	石川 若樹	0				
15	石井 雄大	0				
16	喜屋武 亮輔	0				
17	宮城 周大	0				
18	宇室 秀弥	0				
合計		59	2	24	5	6

チーム名						
熊本工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	竹林 海翔	22	6	2		
5	古閑 啓亮	12		6		
6	宮崎 貴行	4		1	2	
7	阿部 滉平	4		2		
8	久末 健太郎	0				
9	中神 椋太郎	8		4		2
10	野村 翔太郎	0				
11	宮中 建太郎	2		1		
12	藤本 遊次郎	4		2		
13	平原 健太	12		6		2
14	松井 智哉	13		6	1	1
15	小田 瑛月	0				
16	伊勢崎 匡規	2		1		1
17	魚山 魁人	0				
18	宮本 一輝	0				1
合計		83	6	31	3	7

☆戦評

第1Q、お互いにハーフコートマンツーマンでスタート。熊本工業#13のインサイドで先制、首里東も#4がすぐに入れ返し、ゲーム序盤はお互いに点を取り合う攻防が続く。Q終盤、首里東な#5の連続得点、ディフェンスからの速い攻めで19-11と首里東が抜け出し8点リードで第1Q終了。第2Q、熊本工業#4のミドルシュート、#13のリバウンドからのシュートなどで加点し、点差を一気に詰め21-19としたところで首里東がタイムアウト。熊本工業の高さのある守りにリズムをつかめない首里東はミスから熊本工業に得点を許し逆転される。逆転に成功した熊本工業の勢いは止まらず、31-39で第2Q終了。第3Q、高さのある熊本工業の守りに苦戦する首里東に対して、熊本工業はリバウンドからの速い攻めで31-41と点差を2ケタに広げる。その後も熊本工業はリバウンドを支配し、44-58で最終Qへ。第4Q、熊本工業はインサイドを中心に高さを活かした攻めを展開、効果的に#4がアウトサイドも決め、点差を20点差まで広げ、48-69とする。流れを変えたい首里東はオールコートマンツーマンにディフェンスに変え反撃に移る。首里東は#5の粘り強いオフェンス、#8のランニングプレイで奮闘するも点差は縮まらず、リバウンドとインサイドを支配した地元熊本工業が59-83で勝利、準決勝へ駒を進めた。

担当者(森 大樹)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第1試合（準決勝）					
日時	平成27年2月15日					
会場	益城町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	21	—	15	得点
	西海学園	83	18	—	17	74
			21	—	23	チーム名
			23	—	19	小林

チーム名						
西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田 颯斗	8	1	2	1	1
5	堤 涼	0	0	0	0	0
6	石井 翼	0	0	0	0	0
7	鳥海 大樹	21	0	8	5	0
8	増山 宝	0	0	0	0	1
9	山戸 天暁	0	0	0	0	0
10	原 拓史	0	0	0	0	1
11	松本 稔真	23	5	4	0	3
12	神岳 龍昇	0	0	0	0	0
13	野口 瑞樹	0	0	0	0	0
14	吉田 翔	9	0	3	3	3
15	吉田 慎	0	0	0	0	0
16	油谷 隼希	0	0	0	0	0
17	松尾 智	0	0	0	0	0
18	成合 貴博	22	2	5	6	3
合計		83	8	22	15	12

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中野 慎也	0	0	0	0	0
5	高田 宝聖	18	0	9	0	4
6	兒玉 大成	5	1	1	0	2
7	永野 智久	6	0	3	0	5
8	村角 健陽	24	1	6	9	2
9	伊藤 拓真	2	0	1	0	0
10	鳥飼 佑哉	0	0	0	0	1
11	村永 敦也	12	2	3	0	4
12	平山 雅史	0	0	0	0	0
13	細瀧 拓利	0	0	0	0	0
14	根井 友彰	1	0	0	1	3
15	新增 史裕	0	0	0	0	0
16	立石 源輝	0	0	0	0	0
17	田中 源一朗	6	0	3	0	1
18	田中 志哲	0	0	0	0	0
合計		74	4	26	10	22

☆戦評

1Q両チームともマンツーマンの激しいディフェンスからリズムを掴もうとする。西海学園は⑦鳥海の1対1を中心に得点を重ねていく。スティールからの速攻も決め流れが傾くが、小林もすかさず3Pを決め、一進一退の攻防が続く。残り4分で小林のチームファウルがかさみ、西海学園はフリースローを沈めていく。小林は⑧村角の力強い1対1でバスケットカウントを決めるも、21-15で終了。2Qは小林のピックアンドロールの2対2が有効に決まりだし、小林が流れを掴む。25-24となった所で、西海学園はたまたずタイムアウト。すぐにレイアップを決め落ち着きを取り戻す。小林は連続スティールから速い展開に持ち込む。1:47で32-30となるも、西海学園⑩成合の3P、1対1が決まり、点差を広げて2Q終了。3Q、出足から両チームともバスケットカウント3点プレイと3Pの応酬で、入れあいの時間が続く。西海学園は⑪松本の1対1で得点を重ねる。流れを掴もうと激しいディフェンスからスティール、相手チームのファウルがかさみ、フリースローとなるも得点につながらない。小林も⑤高田のゴール下などでぐらいついていき5点差で3Q終了。4Q開始直後、西海学園は1対1と3Pで一気に10点差を広げる。小林もポストプレイで得点を重ね、粘り強くついていく。入れ合いが続き5点差、7点差での攻防。残り2分、西海学園は激しいディフェンスから、速攻で6連続得点を取り、13点差にリードを広げる。小林も⑥兒玉の3Pなどでぐらいつくが、西海学園が落ち着いてゲームをコントロールし、見事決勝進出を決めた。

担当者（川添 武志）

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第1試合（準決勝）					
日時	平成27年2月15日					
会場	益城町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	23	—	12	得点
	鹿児島商業	79	21	—	18	67
			22	—	17	
			13	—	20	
						チーム名
						熊本工業

チーム名						
鹿児島商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山田 安斗夢	12		3	6	4
5	大田 和也					
6	板敷 晃太郎					1
7	永山 拓磨	27	5	4	4	1
8	稲毛 侑聖					
9	柳園 虎之介					
10	小吉 靖太郎					
11	小吉 滉太郎					
12	川野 大雅					
13	熊之細 拳	14		7		2
14	山田 亮平	26	2	10		3
15	尾脇 彰					
16	蔵本 優樹					
17	宮下 晃司					
18	藤木 慧吾					
合計		79	7	24	10	11

チーム名						
熊本工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	竹林 海翔	13		5	3	
5	古閑 啓亮	6		3		3
6	宮崎 貴行					
7	阿部 滉平					
8	久末 健太郎					
9	中神 椋太郎	8		3	2	3
10	野村 翔太郎					
11	宮中 建太郎					
12	藤本 遊次郎					
13	平原 健太	12		6		3
14	松井 智哉	22		11		3
15	小田 瑛月					
16	伊勢崎 匡規	6		1	4	2
17	魚山 魁人					
18	宮本 一輝					
合計		67		29	9	14

☆戦評

1Q、鹿児島商業が、7番永山のスリーポイントで先制する。お互いにハーフマンツーマンディフェンスで入るが、鹿児島商業が4番山田を中心とした攻めで流れをつかみ、23－12鹿児島商業リードで終了。2Q、鹿児島商業が速攻での連続得点で点差を広げる。残り7分、32－18になったところで、熊本工業タイムアウト。熊本工業は2－3ゾーンディフェンスにして流れを変えたいが、なかなか状況は変わらない。熊本工業のハイポストを起点にした9番中神のゴール下シュートで加点するが、44－30鹿児島商業リードで終了。3Q、鹿児島商業は、熊本工業のゾーンディフェンスに速攻とスリーポイントで得点を重ね、点差を広げる。残り3分、60－38で熊本工業タイムアウト。熊本工業は、マンツーマンに戻してプレッシャーをかけ、4番竹林のゲームメイクとバスケットカウントで流れをつかみかけるが、鹿児島商業4番山田の2点シュートですぐに取り返す。4Q、お互いに攻め合うが状況は変わらず残り6分、73－53で熊本工業のタイムアウト。高い位置からプレッシャーをかけ、5番古閑と14番松井の連続得点で逆転への望みを作る。それでも、なかなか決めきれない熊本工業に対して、鹿児島商業は4番山田がゲームをコントロールする。終始、鹿児島商業がリードする展開で79－67で終了した。

担当者（ 村口寿仁 ）

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第3試合（シード決定戦）						
日時	平成27年2月15日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	19	—	15	得点	チーム名
	小林	74	18	—	23	77	熊本工業
			15	—	19		
			22	—	20		

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中野 慎也					
5	高田 宝聖	14		6	2	1
6	兒玉 大成	10	3	1		5
7	永野 智久	9		4	1	4
8	村角 健陽					4
9	伊藤 拓真	13	1	2	4	3
10	鳥飼 佑哉					
11	村永 敦也	14	4	1		4
12	平山 雅史					
13	細瀧 拓利	3	1			2
14	根井 友彰	7	1	2		2
15	新增 史裕					
16	立石 源輝	5			5	
17	田中 源一朗					
18	田中 志哲					
合計		74	10	16	12	25

チーム名						
熊本工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	竹林 海翔	8	2	1		2
5	古閑 啓亮	11		3	5	3
6	宮崎 貴行					
7	阿部 滉平	2		1		
8	久末 健太郎					
9	中神 椋太郎	33		13	7	3
10	野村 翔太郎					
11	宮中 建太郎					
12	藤本 遊次郎					
13	平原 健太	6		3		2
14	松井 智哉	13		6	1	1
15	小田 瑛月					
16	伊勢崎 匡規	4			4	4
17	魚山 魁人					
18	宮本 一輝					
合計		77	2	27	17	15

☆戦評

1Q、両者ともオールコートマンツーマンディフェンスで入る。小林ボールで始まり、11番村永のスリーポイントで先制する。熊本工業はシュートが決まらず波に乗れない。その間、小林は着々とジャンプシュートを決めて、開始3分で11-2とリードを奪い熊本工業タイムアウト。熊本工業は落ち着きを取り戻し、両者激しいプレッシャーをかけあって、19-15小林リードで終了。2Q、お互いに激しいマンツーマンディフェンスし、小林はダブルチームも仕掛ける。小林はファールが多く、熊本工業が逆転し、やや優勢に進める。お互い譲らず、37-38熊本工業リードで終了する。3Q、両者ともマンツーマン。小林は11番村永のスリーポイントで逆転、ゾーンプレスからのゾーンをきっかけに、5番高田の速攻が決まる。対する熊本工業は、4番竹林のスリーポイント2本、9番中神のツーポイントで対抗する。52-57熊本工業リードで終了。4Q、出だしは熊本工業ペースで進み、残り6分57-63熊本工業リードするが、小林も序々に点差を縮めていく。残り30秒、71-75熊本工業リードで小林タイムアウト。直後のオフェンスを活かせず、逆に熊本工業の速攻で9番中神のバスケットカウントが決まる。小林もブザービーターでスリーポイントを決めたが、74-77で熊本工業が接戦を制した。

担当者（ 村口寿仁 ）

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第3試合（決 勝）					
日時	平成27年2月15日					
会場	益城町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	16	—	27	得点 チーム名
	西海学園	87	18	—	13	98 鹿児島商業
			27	—	27	
			16	—	21	

チーム名						
西海学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩田 颯斗	11	1	3	2	4
5	堤 涼	0	0	0	0	0
6	石井 翼	2	0	1	0	0
7	鳥海 大樹	17	1	7	0	5
8	増山 宝	0	0	0	0	0
9	山戸 天暁	0	0	0	0	0
10	原 拓史	5	0	2	1	1
11	松本 稔真	14	1	3	5	3
12	神岳 龍昇	0	0	0	0	0
13	野口 瑞樹	0	0	0	0	0
14	吉田 翔	11	0	4	3	4
15	吉田 慎	0	0	0	0	2
16	油谷 隼希	0	0	0	0	0
17	松尾 智	0	0	0	0	0
18	成合 貴博	27	5	3	6	5
合計		87	8	23	17	24

チーム名						
鹿児島商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山田 安斗夢	17		5	7	2
5	大田 和也					1
6	板敷 晃太郎	10	2	2		3
7	永山 拓磨	19	1	5	6	3
8	稲毛 侑聖					
9	柳園 虎之介					
10	小吉 靖太郎					
11	小吉 滉太郎	2		1		1
12	川野 大雅					
13	熊之細 拳	22		8	6	1
14	山田 亮平	27		13	1	5
15	尾脇 彰	1			1	3
16	蔵本 優樹					
17	宮下 晃司					
18	藤木 慧吾					
合計		98	3	34	21	19

☆戦評

Bパート男子決勝は、1Q両チームともマンツーマンでスタート。鹿児島商業がレイアップで先制すると、速攻を中心にドライブで得点を重ねる。西海学園も1対1を中心にシュートを放つが、連戦の疲れからなかなかシュートが決まらない。3-11になりタイムアウトを取るも、流れが変わらない。鹿児島商業⑭山田の1対1を中心にリードを広げる。ようやく西海学園のディフェンスが機能し始め、連続スチールから得点を取るも16-27で1Q終了。2Q鹿児島商業⑬熊之細のゴール下でのプレイが止まらない。リードを広げようとするが、西海学園はドライブからの合わせが上手くかみ合い始め⑦鳥海が得点を重ね、7点差まで詰め寄る。しかし、鹿児島商業⑥板敷の3Pが要所で決まり、点差を広げて2Q終了。3Q、なかなか両チームともシュートが決まらない。先に鹿児島商業⑦永山が1対1から得点を取ると、選手達が速攻を出そうと意識したプレーで22点までリードを広げる。しかし、西海学園この試合初めての3Pを決めると⑱成合がこのクォーターだけで4本の3Pを沈める。シュートの入れあいとなり3Qを終了。4Q西海学園が先に仕掛ける。トラップディフェンスからボールを奪い、連続得点をあげ8点差まで縮める。しかし、鹿児島商業④山田が気迫溢れるプレーでファウルをもらい、フリースローを着実に決めていく。西海学園は④岩田の3Pなどで追いつくも、87-98で鹿児島商業が見事Bパート優勝を果たした。

担当者（川添 武志）